

No・オプション名	24) 粗面形成装置(除雪グレーダ用)
使用機械	除雪グレーダ
使用工法	路面整正(除雪グレーダ)、拡幅除雪(除雪グレーダ)
使用場所	道路(市町村道、県道、国道)
使用法	油圧シリンダで粗面形成装置を路面に押し付けて走行することにより、圧雪に筋状の傷をつける。 路面整正作業(ブレード除雪)時に、整正直後では路面が平滑で表層の圧雪が僅かに溶けているため後続車両がすべり易くなる。そのため、後続車両のスリップを防止するため、路面整正作業と同時に粗面形成装置による施工を行う。また、凍結防止剤散布作業前に同時施工で圧雪を粗面化すると凍結防止剤の定着性・飛散防止効果を高めることができる。
機能構造	<p>整正後の平滑な圧雪路面又は氷盤路面の表面に、タイン又は超硬ビット付タインあるいは超硬ツースなどにより、筋状の傷をつけて粗面を形成し自動車等のスリップを防止する装置。除雪グレーダではブレードに取付けるタイプと車両後部に取付けるタイプがある。</p> <p>タイン(溝形成用部品)または超硬ツース(非常に硬い金属の歯)をゴムやバネなどの緩衝装置を備えて並列に配列した取付フレームを昇降シリンダによりリンク機構を介して下降させ、タインまたは超硬ツースを路面に押し付けて走行することにより、平滑圧雪路面に筋状の傷が付き圧雪路面を粗面化する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>車両後部取付けタイプ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ブレード取付けタイプ</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">図 粗面形成装置(車両後部取付けタイプ及びブレード取付けタイプ)</p>
特徴	路面整正時の同時施工により、路面整直後のつるつる路面对策や凍結防止剤の定着性、飛散防止効果を高めることに有効である。
留意事項	雪の下に隠れている障害物への接触による破損に注意する。
図・写真	<p style="text-align: center;">写真 粗面形成装置を併用して作業中の除雪グレーダ</p>

	 <p data-bbox="427 427 608 461">粗面形成装置</p> <p data-bbox="660 499 1217 533">写真 粗面形成装置を装備した除雪グレーダ</p>
備考	装置の構造には数種類の形式がある。